



「マッチ一本火事のもと！」 子どもたちの元気な声響く

春の火災予防運動期間に合わせ、松ヶ崎地区では毎年、地元の消防団と保育園が合同で防火パレードを行っています。ことしは1～5歳児の25人が大きな声で防火を呼び掛け、沿道で出迎えた地域の人たちから盛んに声援や拍手が送られました。(4月4日・松ヶ崎地区)



ようこそ由利本荘市へ 県立大本荘キャンパスで新入生歓迎

秋田県立大学本荘キャンパスの新入生歓迎会が4月5日に行われました。新入生は、秋田市にある秋田キャンパスでの入学式を終えた後、バスで由利本荘市に到着。正面玄関前で待ち構えていた市民などから拍手で迎えられました。歓迎に駆け付けた内越保育園の園児たちは「ご入学おめでとうございます」「勉強がんばってね」などと声を掛けながら、新入生とハイタッチ。少し緊張気味だった新入生も、かわいらしい子どもたちの様子に思わず笑

みを浮かべていました。栃木県さくら市出身の関義樹さんは「夢はまだ決まっていないが、友達をたくさん作って、将来に役立つ知識を身に付けたい」と、茨城県つくば市出身の浅野貴弥さんは「由利本荘市の第一印象は『寒いなあ』ですが、これから勉強して一級建築士になって親孝行したい。大学での生活や遊びも人生経験の一つなので、楽しみたいです」と抱負を語りました。

地域の安全のために、カーブミラーの清掃に取り組んでいます！

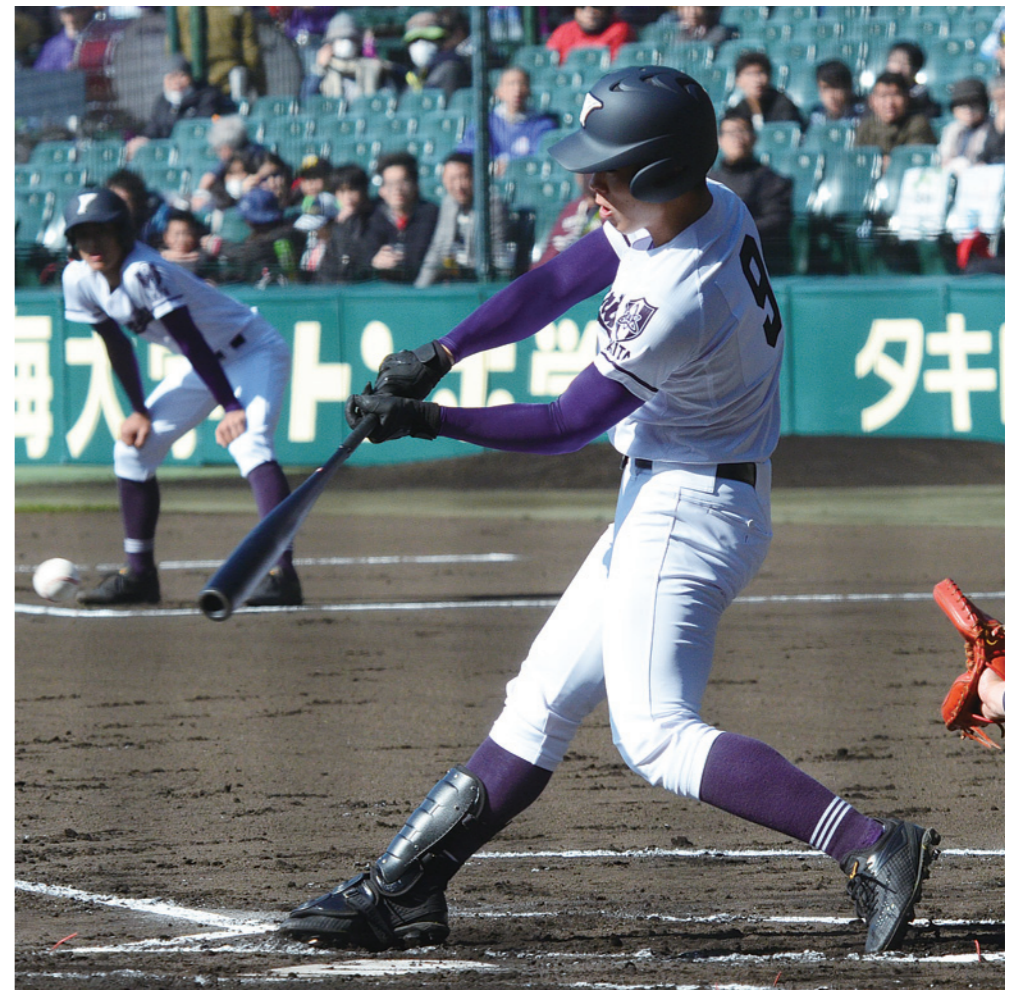
本荘空手道スポーツ少年団の有志の皆さんは、毎年4月の初めに地域のカーブミラーの清掃を行っています。ことしは4月1日に清掃が行われ、団員やその保護者など20人ほどが活動に取り組みました。家族と一緒に参加した津籠史哉君(9歳・石脇)は「初めて参加しました。ピカピカにするのがけっこう楽しい」と話し、軽やかな足どりで次のミラーへと向かいました。師範の佐々木喜悦さん(68歳・石脇)は「今回で32回目の活動になりました。新入学で慣れない

道を歩く子どもも多い時期なので、安心して通学してもらえるようにと思って毎年続けています。私がこれまでやってきた思いが、参加している子どもたちにもつなげられるかなと思っています」と話し、ミラーを丁寧に拭き子どもたちを目を細めて見守りました。佐々木さんが前日までに済ませた約150基と当日7グループに分かれて回った約100基、合わせて250基ほどのカーブミラーが明るく見やすくなりました。交通事故のないまちを目指して、ドライバーも歩行者もみんなを付けていきましょう！

脚立を使ったり大人に抱きかかえてもらったり。高い所も工夫して一生懸命磨きました



Interactive Side Story



| | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|
| 平成30年3月24日(土) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 計 | 安 | 失 |
| 由利工(秋田) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 |
| 日大三(東京) | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | × | 5 | 12 | 0 |

| 【由利工】 | 学年 | 打 | 得 | 安 | 打 | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回 | 6回 | 7回 | 8回 | 9回 |
|-----------|----|----|---|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (中) 土井 幹太 | ③ | 3 | 0 | 0 | 0 | 四球 | ... | 三振 | ... | 三ゴ | ... | ... | 右飛 | ... |
| (三) 佐藤 隼人 | ③ | 2 | 0 | 0 | 0 | 投権 | ... | 三ゴ | ... | 四球 | ... | ... | 三振 | ... |
| (捕) 井島虎之介 | ③ | 3 | 0 | 1 | 0 | 遊ゴ | ... | 中安 | ... | 三併 | ... | ... | ... | ... |
| 捕 畑山 陸翔 | ③ | 1 | 0 | 0 | 0 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | 遊ゴ | ... |
| (右) 石原龍之介 | ③ | 4 | 0 | 1 | 0 | 二ゴ | ... | 左安 | ... | 三振 | ... | ... | 一ゴ | ... |
| (一) 木村 裕太 | ③ | 4 | 0 | 2 | 0 | ... | 中安 | 三ゴ | ... | ... | 一ゴ | ... | ... | 左安 |
| (左) 菊地 浩介 | ③ | 3 | 0 | 1 | 0 | ... | 投権 | ... | 左安 | ... | 左飛 | ... | ... | 三振 |
| (二) 大友 文 | ③ | 3 | 0 | 0 | 0 | ... | 右飛 | ... | 一併 | ... | ... | 三振 | ... | 右飛 |
| (投) 佐藤 亜蓮 | ③ | 2 | 0 | 0 | 0 | ... | 四球 | ... | 三ゴ | ... | ... | 三ゴ | ... | ... |
| (遊) 佐々木聖弥 | ③ | 3 | 0 | 0 | 0 | ... | 遊ゴ | ... | 三振 | ... | ... | ... | ... | 二ゴ |
| 合計 | | 28 | 0 | 5 | 0 | | | | | | | | | |

| 【日大三】 | 学年 | 打 | 得 | 安 | 打 | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回 | 6回 | 7回 | 8回 |
|------------|----|----|---|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (三) 金子 凌 | ③ | 2 | 1 | 0 | 0 | 四球 | ... | 左飛 | ... | 四球 | ... | 四球 | 遊ゴ |
| (二) 木代 成 | ③ | 3 | 0 | 0 | 0 | 投権 | ... | 一ゴ | ... | 右飛 | ... | 三併 | 三振 |
| (遊) 日置 航 | ③ | 4 | 1 | 3 | 2 | 中飛 | ... | ... | 左本 | 左安 | ... | 中安 | ... |
| (右) 大塚 晃平 | ③ | 4 | 1 | 1 | 0 | 二ゴ | ... | ... | 二飛 | ... | 中2 | 左飛 | ... |
| (投中) 中村 奎太 | ③ | 4 | 1 | 2 | 0 | ... | 左飛 | ... | 右安 | ... | 二ゴ | 左安 | ... |
| (一) 飯村 昇大 | ③ | 4 | 0 | 2 | 1 | ... | 二ゴ | ... | 右安 | ... | 左安 | 二飛 | ... |
| (中左) 柳沢 真平 | ③ | 1 | 1 | 1 | 1 | ... | 四球 | ... | 中飛 | ... | 遊安 | ... | 四球 |
| (左) 小沢 俊翔 | ③ | 1 | 0 | 1 | 0 | ... | ... | 右安 | ... | ... | ... | ... | ... |
| 走 高木 翔己 | ③ | 0 | 0 | 0 | 0 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 投 井上 広輝 | ② | 2 | 0 | 1 | 0 | ... | ... | ... | 二ゴ | ... | 右安 | ... | 投権 |
| (捕) 齊藤 龍二 | ③ | 3 | 0 | 1 | 1 | ... | ... | 捕権 | ... | 遊ゴ | 遊併 | ... | 中安 |
| 合計 | | 28 | 5 | 12 | 5 | | | | | | | | |



夢舞台で最後まで全カプレー

～由利工の新たな歴史を刻む～

第90回記念選抜高校野球大会が3月23日から4月4日にかけて兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開催され、21世紀枠で春夏通じて初出場の由利工業高校が、高校球児憧れの夢舞台「甲子園」に立ち、「由工」の歴史に新たな1ページを刻みました。

由利工業高校は3月24日、大会2日目の第1試合に登場し、甲子園優勝経験もある強豪の日大三高（東京都）と対戦。試合は0-5で敗れたものの、強豪相手に最後まで全カプレーを貫き、地元や県外から駆け付けた応援団から温かい拍手が送られました。

強豪日大三高に善戦

週末を迎えた大会2日目の3月24日、入場券売り場には8時の開門前から多くの高校野球ファンが長蛇の列をつくりました。

一塁側のアルプススタンドが、秋田から駆け付けた生徒や保護者などの大応援団でスクールカラーの紫紺に染まる中、第1試合の由利工対日大三は、9時2分プレーボールとなりました。

先攻の由利工は、1回表に四球や送りバントなどで2死3塁、2回表に5番木村裕太内野手（3年）の甲子園初安打となる中安打と送りバントなどで2死1・2塁、3回表に3番井島虎之介捕手（3年）と4番石原龍之介外野手（3年）の連続安打で2死1・2塁、4回表に6番菊地浩介外野手（3年）の左安打と送りバントなどで2死3塁と、4回まで毎回得点圏に走者を進めますが、あと一本が出ず無得点。しかし、序盤は再三好機をつくるなど強豪相手にほぼ互角の戦いを展開します。

先発したエースの佐藤亜蓮投手（3年）は、3回まで被安打1の無失点と好投。しかし、4回に本塁打で先制を許すと、さらに犠飛でもう1点を追加されます。反撃したい由利工ですが、4回から継投した相手投手をなかなか打ち崩すことができず、5回から8回まで無安打に抑えられます。

佐藤投手は力投を続けましたが、6回から8回にも日大三に1点ずつを追

加され、0-5で最終回を迎えます。由利工は1死から、木村内野手がこの日2本目となる安打を放って反撃を試みますが、後が続かずゲームセット。敗れはしましたが、満塁のピンチで併殺を取るなど無失策。大舞台ではつらつとしたプレーを披露しました。

大友丈内野手（3年）の父で野球部親の会長の雄さんは「甲子園に連れてきてくれた子どもたちに感謝しています。自分たちの足りない部分を強化して、夏に戻ってきてもらいたい」と子どもたちに感謝するとともに、今後の飛躍を期待しました。